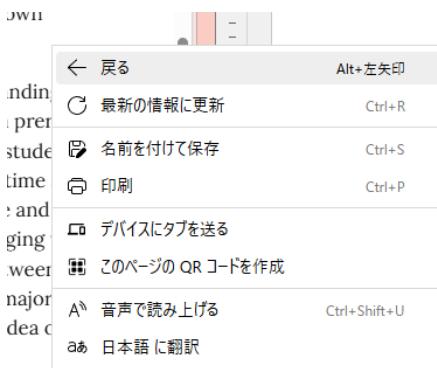


事前資料

この度は、基礎研修講座「学生支援としてのアカデミック・アドバイジング：情報収集・吟味・決定力を育むアプローチ」にご参加いただき、誠にありがとうございます。

本講座に先立ち、下記ウェブサイトの記事をご一読いただけますと幸いです。



記事は英語で書かれていますが、画面上で右クリックし「日本語に翻訳」を選択することで、日本語に変換できます。

資料① ヴィゴツキーとデューイの主要理論：アカデミック・アドバイジング理論への影響

[Key Theories of Lev Vygotsky and John Dewey: Implications for Academic Advising Theory](#)

資料② アドバイジングにおけるキャリア理論・アイデンティティ形成理論の応用

[Applying Career and Identity Development Theories in Advising](#)

資料③ コネクティビズム：近年のアカデミック・アドバイジングのための学習理論

[Connectivism: A Learning Theory for Today's Academic Advising](#)

AIによる翻訳のため、一部不自然な表現や聞き慣れない言葉があるかと存じます。そこで、特に戸惑いややすい言葉について、以下のリストにまとめましたので、ご活用ください。

1. アカデミック・アドバイジング：「学術アドバイス」「学術的アドバイス」「アカデミック・アドバイザリー」と翻訳される場合がありますが、これらはすべて「アカデミック・アドバイジング」を指します。
2. 生徒：「学生」を指します。
3. ヴィゴツキーの近位発達ゾーン：「現在、自分一人でやることは難しいが、他者との協同（誰かのサポート）があればできることの範囲」を意味します。
4. アイデンティティの拡散段階：「青年期に若者が抱える内面の葛藤を強める原因となる、自己認識や価値観が形成される時期」を指します。
5. 人口アドバイザー：翻訳ミスです。「人口」を削除して読んでください。
6. 差し押さえ段階の学生：専攻などを深く考えることなく決定した学生を指します。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。